



片岡 鉄雄さん(89)
和子さん(87)
登米町・西針田
1955(昭和30)年12月入籍

病氣しないで健康に過ごしたいね

★二人のなれ初めは
【鉄雄】昔だがお見合いで知り合ったんだけど、緊張してちらっとしか顔見れなかったね(笑)。
★結婚当時の思い出は
【鉄雄】養蚕したり田んぼしたり林業したりで忙しかったね。当時は森林組合が無かったが、森林保護組合の立ち上げもしたね。
【和子】新婚旅行はできなかったけど、二年に一回、部落の人たちとトラックの荷台に乗って鳴子や松島へ泊まりに行くのが楽しかったね。
★お互いの性格は
【鉄雄】たまに聞かないとこも
【和子】二人とも病氣しないで健康に過ごしたいね。
★二人怒りたくなるときもたまにあるけど、言わずに一度飲み込むことがなあ。
★現在の楽しみは
【鉄雄】コロナがはやる前は、小学校にしろ縄づくりを教えに行くのが楽しかったね。
【和子】月に一回近所の人たちにお茶飲みしながら世間話することだね。
★これからしたいことは
【和子】二人とも病氣しないで健康に過ごしたいね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「ふるさとを誇りに」

私が、ふるさとを離れ四十年になります。以前は帰省しても「家族や友人に会えてよかった。懐かしかった」くらいで、特別ふるさとについて意識したことは無かったです。意識したのはのは、東日本大震災で壊滅的な被害を受け、復興が進む中、東京オリンピックのポルト競技会場の候補に長沼が挙がったときです。それには大変驚きました。何かにつけて「候補地の長沼ポルト場は私の地元なんだよ。そこに母校のポルト部もあるんだよ」と、会社の同僚や取引先、友人などに自慢したことが、まるで昨日のことのように思い出されます。小池都知事が視察に来るくらいなのだから、もしやと期待していた

亀川 善悦さん(63)

関東地区
宮城県南方町人会事務局
南方町(梶沼)出身



のですが、残念ながら落選。かなりショックでしたが、登米市と長沼の知名度が上がっただけでも良かったと思います。そしてNHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」。放映の1年くらい前から知ってはいたのですが「本当に気仙沼と登米がドラマになるなんて」と、大変興奮しました。今までこんなにも我がふるさとを愛しく、頼もしく、誇らしく思ったことは無かったと思います。しかし、放映と時を同じくして、新型コロナウィルスの感染拡大で、帰省することもままならなくなってしまうました。子どもたち、特に孫たちに私の生まれ育ったふるさとを見せてあげたい。ふるさとの空気を肌で感じさせ、いっぱい吸わせてあげたい。少しでも私が生まれ育った環境に浸してやりたい。そして少しでも好きになって自慢に思ってくれたらと、そんなふるさとへの思いがますます募ります。メディアなどで目や耳にするたび、私を元気にしてくれたり、励ましてくれたりと、そんな我がふるさと登米市に改めてエールを送ります。
登米市ありがとう。遠く離れた埼玉の地から、いつまでも誇りに思っています。

おらほの物産

とよま観光物産センター「遠山之里」



店内にはおかえりモネのグッズが充実。今しか買えない商品もありますので、お早めにお買い求めください。

今月は、とよま観光物産センター「遠山之里」の山田忠則取締役管理部長にお話を伺いました。
Q人気商品やおすすめ商品などを教えてください
登米市が舞台の一つになったNHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」のグッズがおすすめです。昨年、放送は終了しましたが、遠山之里では今年の10月まで、グッズを販売する予定です。人気で品薄が続いたキャラクターパペットも販売しています。その他には140年の歴史がある田辺菓子店の「太白飴」もおすすめ



登米名物「太白飴」は140年?
で税込540円

です。「太白飴」は砂糖を一切使わず、麦芽の自然な甘みが楽しめます。飴に適した良い状態の麦芽を使うため、10月下旬から5月中旬にしか作られない期間限定の商品です。また、自宅で過ごすことが多くなった今の状況を楽しんでもらえるよう、新しくコーヒーや玄米茶などの専門コーナーを設置しました。市内や近隣の地域で作られたコーヒーをメインに販売していますので、地元の味を飲み比べしてみてください。当店で販売を希望するお店や企業も募集していますので、詳しくは問い合わせください。
【問い合わせ】とよま観光物産センター「遠山之里」
0220(52)5566



コーヒーなどは小分けで販売。さまざまな味を試せます

作品募集!

●4月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、2月28日(月)まで応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

俳句・川柳 まちの文芸

俳句
冬麗のしろさわだちて驚光り
舞初の「さんさしぐれ」や三姉妹
新雪に孫描きしのそり滑り
七草やまじなひ唱へ粥を煮る
音立てて竹林濡らす村時雨
断腸の賀状仕舞ひのあまたあり
育みて摘むに愛しき若菜かな

- 遠藤 光昌 (迫)
小野寺智子 (迫)
杵渕 博 (迫)
及川 豊子 (東和)
大平 清登 (東和)
菊地 典子 (中田)
黒田 律子 (中田)

初日の出門より夫と押しけり
「爺どうぞ」柿落葉載る泥だんご
やれ嬉し元氣知らせる旧友の賀状
雁の群見送りながら引くカーテン
雪見風呂なんのかんのと幸せよ
九十の齢いだき初句会
古き本読み返す日々漱石忌
ほほ笑みは言葉のひとつ初句会

- 石崎よしの (米山)
三浦 健治 (石越)
佐瀬 徳 (南方)
三上 久美子 (南方)
浅野のり子 (津山)
佐藤喜美子 (津山)
須藤 桂子 (津山)
高橋ちよの (津山)

応募総数38作品